

kakaku.com

株式会社カカコム

Cisco DevicesからMS Teamsへの会議へワンボタンで参加。 Cisco Devices本来のメリットである 高品質な音声、画像、資料共有機能をフル活用し、 よりエンゲージメントの高い会議を実現

購買支援サイト『価格.com』やレストラン検索・予約サイト『食べログ』など、消費者の生活に深く関わるサービスを提供しているカカコムは、複数展開している拠点間のコミュニケーションを円滑にするべくWeb会議ソリューションとしてWebexを採用しました。2023年1月時点では国内7拠点にある53の会議室をWebexでつなぎ、さらにMicrosoft Teamsと連携することで、まるで同じ会議室で会話しているかのような臨場感を再現した快適なハイブリッドワーク環境を構築しています。

Cisco Devicesから、MS Teamsでの会議へワンボタンで参加しています。既存資産を有効活用することはもちろん、Cisco Devicesの機能をそのままMS Teamsでも活用できるのでCisco Devicesの優れた音声、画像によって、誰がどのような、雰囲気や熱量で話しているか、相手の反応がはっきりと分かり、ビデオをオンにしても問題なく資料共有ができ、会議全体の状況を把握しやすくなりました。

—— カカコム プラットフォーム技術本部 コーポレートIT室 室長
栗山 嘉唯 氏

製品 & サービス

- ・ Webex Meetings
- ・ Cisco Devices (Room Kit / Room Kit Plus / Room Kit mini)
- ・ Webex VIMTライセンス

課題

- ・ 社内の打ち合わせで離れた拠点間を移動する手間や時間を減らしたい
- ・ 複数名で会議室から参加する場合、パソコンでの会議参加では、発言者や参加者の表情や周囲の反応を確認しづらい
- ・ 事業部ごとに使っているWeb会議ソリューションが乱立しており、環境を統一したい

ソリューション

- ・ 音声と映像の品質が良好で、従業員のITリテラシーに関わらず直感的に操作可能
- ・ セキュリティ面でも第三者機関の評価が高く安心
- ・ 長期にわたってサポートしてもらえる企業、ブランドへの信頼感

結果～今後

- ・ 既存の資産 (Cisco Devices) を有効活用しMS Teamsへの会議にワンボタンで参加
- ・ 会議室間での高品質なWeb会議を実現し、同じ拠点にいるような感覚で業務を遂行可能
- ・ Microsoft Teamsとの連携でハイブリッドワークにも効果的



カカコム
プラットフォーム技術本部 コーポレートIT室 室長
栗山 嘉唯氏



カカコム
プラットフォーム技術本部 コーポレートIT室
ヘルプデスクチーム マネージャー
櫻井 正毅氏

カカコムグループは、購買支援サイト『価格.com』、レストラン検索・予約サイト『食べログ』、不動産住宅情報サイト『スマイティ』、求人情報の一括検索サイト『求人ボックス』、全国の高速バス・夜行バス、バスツアーの料金比較サイト『バス比較ナビ』、総合映画情報サイト『映画.com』など、幅広い分野で国内屈指の集客力を誇るサービスを展開しています。これらの「インターネット・メディア事業」だけでなく、「ファイナンス事業」としてカカコム・インシュアランスは保険代理店業務などのサービスも提供しています。

カカコム プラットフォーム技術本部 コーポレートIT室 室長の栗山 嘉唯氏は、「当社は創業以来、“ユーザー本位”という価値観を大切にしてきました。“LIFE with -生活とともに-”をミッションとし、グループ全体で20以上のサービスを消費者の視点に立って運営しています」と、同社のサービスについて説明します。

こうしたサービスを支えるカカコムの従業員は約1,200名所属しており、国内7拠点で活動しています(2022年3月末 現在)。その活動に欠かせないのが社内システムであり、栗山氏が室長を務めるコーポレートIT室が企画や開発、運用などを担っています。

「パソコンの管理やコミュニケーションツールなどの構築や運用、ユーザーサポートも行っています。近年では、在宅勤務をはじめとした働き方の変化へ迅速に対応することも重要な役割です。お客さまへサービスを提供するのと同じように、社内システムを“ユーザー本位”で提供するのがコーポレートIT室のミッションです」(栗山氏)

課題

しかし、事業拡大に伴って本社オフィスは徐々に手狭になっていきました。2019年当時は近隣のビルを賃借しており4つの拠点に組織が分散していたことから、打ち合わせのためにビルの間を移動することが頻繁にありました。また、全国各地にも拠点があり、営業部門を中心に日常的に連携をとっていました。

当時はMicrosoft Teamsを利用していたものの、用途によっては不向きな場面があったといいます。カカコムのプラットフォーム技術本部 コーポレートIT室 ヘルプデスクチームでマネージャーを務める櫻井 正毅氏は「Microsoft Teamsのチャット機能を日常的に利用していたため、Web会議もMicrosoft Teamsを主に使っていました。1対1の打ち合わせなら快適に使えるのですが、会議室にパソコンを持ち込んだ多対多のコミュニケーションでは、画面や資料共有をする際に同じ会議室にいない複数台のPCでWeb会議へ参加しなくてはならず、利便性が低い状況でした。ビデオを有効にして資料共有をするのが困難な時もあり、参加者全員の表情を見て意見を交わすことができませんでした」と振り返ります。

管理者の立場からは別の問題も生じていました。コーポレートIT室にて従業員のITツールの利用をサポートしている湯本 ひかり氏は「事業部ごとにさまざまなWeb会議ソリューションを使い始めた結果、多様なソリューションに関する問い合わせがコーポレートIT室に寄せられるようになりましたが、私たちだけでは全て対応することができません。そこで、会議室に専用のWeb会議ソリューションを配備し、環境を統一することにしました」と説明します。

ソリューション

会議室をつなぐツールとして、カカコムはシスコのオンラインコミュニケーションシステムの「Webex」を選定しました。その理由を湯本氏は次のように話します。

「Webexは音声と映像の品質がかなり良好でした。また、セキュリティ面でも第三者機関の評価が高かったため、安心して利用できるといったことも選定した理由です。さらに、Webexは操作性にも非常に優れていました。従業員のITリテラシーにかかわらず直感的に操作できますし、管理者がクラウド



カカクコム
プラットフォーム技術本部 コーポレートIT室
湯本 ひかり 氏

ド上で機器を一元管理するコントロールハブが非常に直感的で操作しやすいものでした」
以前からシスコが提供する製品を多数利用していたカカクコムは、同社のブランドへの信頼感があったと櫻井氏は語ります。
「検討を始めた2019年の始め頃は、まだWeb会議専用のデバイスを提供している会社が少なく市場の歴史も浅かったのですが、シスコなら安定していて、長期にわたって利用できるだろうと考えました」

全国53の会議室を結ぶ高品質なコミュニケーション環境を整備

こうしてカカクコムでは、まずは本社と都内周辺拠点にWebexを導入しました。使い勝手の良さや品質の高さがユーザーから好評だったため、さらに地方拠点への導入を本格化していきました。
現状について湯本氏は「本社と渋谷オフィスでは、小さなミーティングスペースを除き、ほぼ全ての会議室にCisco Room Kitsシリーズを設置しています。地方拠点と合わせて、現在53の会議室がWebexでつながりました」と説明します。
地方拠点については、湯本氏が現地に赴いて機器を設置しています。ハードウェアに関する知識や経験に関わらず、特に戸惑うことなく順調に作業できているといいます。

ライセンス追加の要望も出たMicrosoft Teamsとの連携

在宅勤務とオフィス勤務のハイブリッドワークが定着するとともに、会議室とノートパソコンをつなぐミーティングのニーズも高まってきました。そこでコーポレートIT室では、Webexが提供するVIMT (Video Integration for Microsoft Teams) ライセンスを購入しました。VIMTは、Microsoft Teamsで開かれるWeb会議にCisco Devicesを介して参加できるようにする仕組みです。
「Webexで開催する会議にMicrosoft Teamsから参加する利用者が増えた事により、当初想定したライセンスを超える需要がありました。そのためVIMTライセンスを25ライセンスから45ライセンスに増やしました」(湯本氏)
こうした利用状況を受けて、カカクコムではVIMTのライセンスを追加してコミュニケーションの活発化を促進することにしました。VIMTライセンスさえあれば、Webex Meetingsのライセンス数に関係なくCisco DevicesからMicrosoft Teamsの会議に参加できます。
VIMTが多くのユーザーから利用されている背景について、櫻井氏は「メインのコミュニケーションツールであるMicrosoft Teamsを、Webexの高品質なマイクとカメラで利用できることが好評です」と説明します。



kakaku.com

商号 株式会社カカコム
設立 1997年12月
本社所在地 〒150-0022
東京都渋谷区恵比寿南3丁目
5番7号 デジタルゲートビル
従業員数 連結: 1,297名
(2022年9月末 現在)
URL <https://corporate.kakaku.com/>

カカコムは1997年の創業以来、日々の暮らしが豊かになるようなインターネットサービスを展開しており、ショッピングやグルメ、旅行、映画、不動産などへと事業領域を拡大し続けてきました。2022年時点でグループサービスは20を超えており、さらに価値のあるサービスを提供するため、グループ一丸となって取り組みを続けています。インターネット市場の変化は今後さらに加速していくものと考えられます。カカコムに根付く「ユーザー本位」という価値観を大切に、柔軟かつ迅速に変わりながらイノベーションを起こしていくことで、これからも皆様のご期待にお応えできるような事業展開を行ってまいります。

結果～今後

Webexの導入は社員から好意的に評価され、カカコムではCisco Devicesの台数、Webex Meetingsのライセンス、そしてVIMTも追加しました。

湯本氏によると、本社周辺で拠点間の移動がなくなったことに加えて、遠隔地の会議室とつながるWeb会議が容易になったことを喜ぶ声が上がっているといいます。Webexに対する肯定的なコメントをユーザーから聞くことができ、導入の効果を身をもって感じられたと振り返ります。

櫻井氏はWebexの価値について「地方拠点でも距離の制約なく、東京の同じ拠点にいる感覚で顔を合わせて業務ができています。社内のコミュニケーションだけでなく商談にも利用されており、人事部門では採用活動で活発に利用しています」と説明します。

さらに栗山氏は、利用者の視点で次のように評価します。

「Cisco Devicesを使えば同じ場所にいる感覚で会議ができるので、理解度も高まります。発言者をカメラが自動的に追う機能で、相手が話している雰囲気や向かいにいる人の反応がはっきりと分かり、会議全体の状況を把握しやすくなりました。Microsoft Teamsを利用する際にも、パソコンより場の空気感をつかみやすいですね」

コーポレートIT室では、Webexの効果に満足しつつも、さらに従業員が働きやすい環境を提供するために、今後も積極的に活動していく方針です。Web会議のようにユーザーの目に触れるソリューションの提供はもちろん、快適な通信環境を維持したり、安心安全にネットワークを利用できるようにセキュリティ対策を施したりと、人知れず活動が続けることでビジネス全体を支えていこうとしています。

「従業員の就業環境の拡充を“ユーザー本位”の視点に立って進めていきます。今後、特に着目したいのがソリューション間の連携です。VIMTの導入成果から、連携の価値や重要性を改めて認識しました。働き方の可能性を広げ、従業員が能力を発揮できるようにするためにも、シスコシステムズには新しい機能の追加やグループウェアなど連携対象の拡充を期待しています」(櫻井氏)

その他の詳細情報

Webexの詳細は <https://www.webex.com/ja/index.html> をご覧ください。

シスコ お問い合わせ窓口

自社導入をご検討されているお客様へのお問い合わせ窓口です。
製品に関して | サービスに関して | 各種キャンペーンに関して | お見積依頼 | 一般的なご質問

お問い合わせ先
お電話での問い合わせ
平日 10:00 - 17:00
0120-092-255

お問い合わせウェブフォーム
cs.co/jawebex2308



©2023 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
Cisco, Cisco Systems, およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における商標登録または商標です。
本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R) この資料の記載内容は2023年2月現在のものです。この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー
cisco.com/jp

2352-2301-000-N

webex by **cisco**